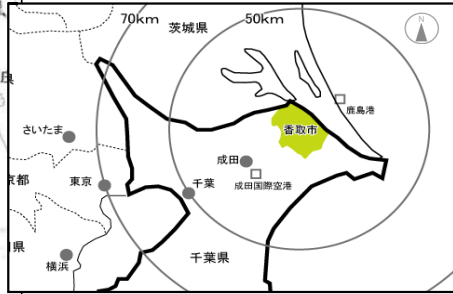


03 香取市文化財保存活用地域計画【千葉県】

香取市の位置



【計画期間】 令和5～11年度
(7年間)
【面積】 約262.35km²
【人口】 約7.2万人



香取市の指定等文化財件数

(R4.4.1現在)

種類	国		県		市指定	合計		
	指定・選定	登録	指定	登録				
有形文化財	建造物	1	3	13	0	16	33	
	美術工芸品	絵画	0	0	0	0	10	10
		彫刻	1	0	5	0	9	15
		工芸品	4	0	7	0	4	15
		書跡・典籍	0	0	0	0	2	2
		古文書	1	0	2	0	9	12
		考古資料	0	0	7	0	13	20
歴史資料	1	0	1	0	11	13		
無形文化財	0	0	1	0	0	1		
民俗文化財	有形の民俗文化財	0	0	2	0	4	6	
	無形の民俗文化財	1	0	2	0	14	17	
記念物	遺跡	4	0	5	0	29	38	
	名勝地	0	0	0	0	1	1	
	動物、植物、地質鉱物	1	0	1	0	4	6	
文化的景観	0	-	-	-	-	0		
伝統的建造物群	1	-	-	-	-	1		
計	15	3	46	0	126	190		

指定等文化財は、190件 未指定文化財等は、9,602件把握

香取市の歴史文化の特徴

香取市域は、自然的・地理的環境から北部の利根川沿いの沖積平野と南部の下総台地と呼ばれる洪積台地に区分することができる。

I. 香取の海から生まれた世界

かつて北部には「香取の海」と称される広大な内海が広がり、この水域では河川湖沼と結びついた人々の生活の営みと交流が行われ、古代から中世にかけて独自の歴史的世界が広がっていた。

II. 利根川東遷と河岸の発展

徳川幕府の利根川の東遷事業により、舟運が発達し物資の交易が盛んとなり、河岸として佐原や小見川は商業的に発展した。そこで行われる祭礼行事は、歴史的町並みの景観とともに今に伝わる。

III. 利根川と下総台地に広がる風景

利根川北部は、幕府の新田開発などにより水郷地帯独特の自然景観と生活文化が形成され、利根川以南の下総台地では、谷津や河川の周辺と台地上に耕作地が広がる風景を見ることができる。

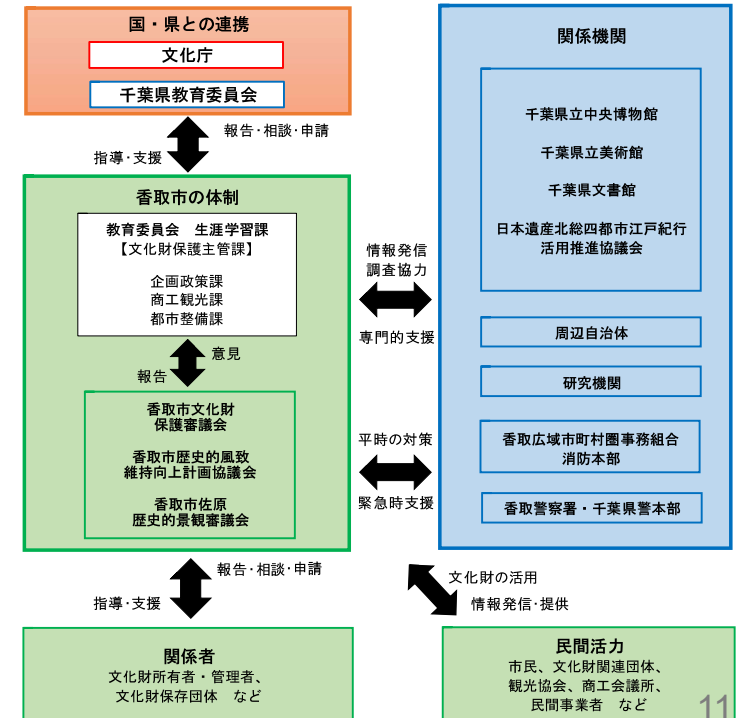
IV. 仏教文化の広がり と 下総台地に刻まれた遺跡群

古代から中世にかけて仏教文化が伝わり各所に寺院が建立されるとともに、瓦の生産なども行われるようになった。また、中世の千葉氏一族の拠点であった城跡や、幕府直轄の馬牧跡が良好な状態で残る。

V. 下総台地のくらしと信仰・祭礼

下総台地や新島地域には、それぞれの環境に適した生活文化が生み出された。村々の神社祭礼では特色ある祭礼行事が行われるようになり、各地で神楽も盛んに行われ、地域のつながりを深めていった。

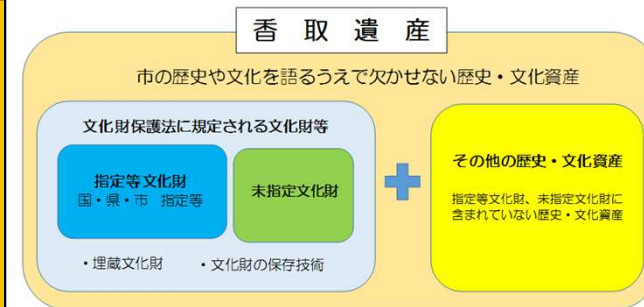
推進体制



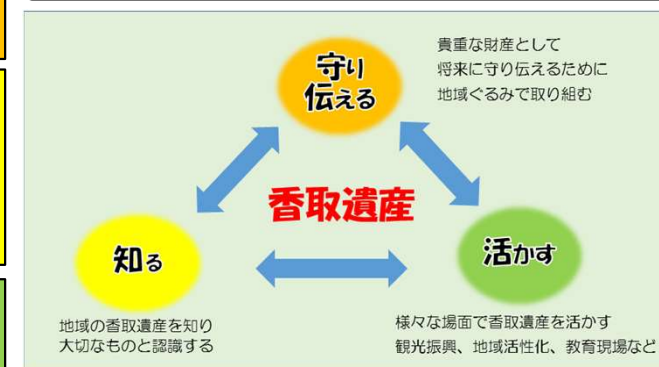
香取遺産の保存と活用に関する課題と方針



香取遺産



香取遺産を守り伝える・知る・活かす



香取遺産を「守り伝える・知る・活かす」をキーワードに将来像の実現に向けた取り組みを進める。

香取遺産の保存と活用に関する措置

<p>方針②</p> <p>11 指定等文化財保存・修理事業</p> <p>指定等文化財の計画的な保存修理を図り、必要な場合は補助金の活用を検討する。</p> <p>主体：行政 期間：R5～11</p>  <p>三葉銀行佐原支店旧本館</p>	<p>方針⑦</p> <p>38 指定等文化財・重要遺跡の測量、撮影委託</p> <p>指定等文化財や重要遺跡について、記録写真撮影や空中写真撮影を継続的に実施する。</p> <p>主体：行政 期間：R5～11</p>  <p>三ノ分目大塚山古墳</p>	<p>方針⑩</p> <p>62 国史跡等の公開環境の整備</p> <p>国史跡等については、適正な公開環境を維持する。将来的に個別の保存活用計画、整備計画を作成し、整備を進める。</p> <p>主体：行政 期間：R5～11</p>  <p>良文貝塚標柱</p>	<p>方針⑮</p> <p>72 佐原・香取学習パンフレット、ガイドマップ配布事業</p> <p>小学校などの生徒を対象に、日本遺産佐原・香取学習パンフレット・ガイドマップを無償頒布する。</p> <p>主体：行政 期間：R5～11</p> 
---	--	---	---

5つの歴史文化の特徴から見える13の関連文化財群

歴史文化の特徴	関連文化財群	歴史的風致維持向上計画 歴史的風致・重点区域	日本遺産 構成文化財	主な香取遺産
I. 香取の海から生まれた世界	① 香取の海に育まれた縄文文化 ② 香取の海沿岸の豪族たち ③ 下総国一の宮 香取神宮	歴まち重点区域(佐原・香取) 香取神宮信仰と式年神幸祭	香取神宮本殿 神宝類など	
II. 利根川東遷と河岸の発展	④ 利根川舟運で発達した河岸 江戸優り佐原と小見川陣屋 ⑤ 江戸の文化とともに活躍した 学者・文人	佐原の町並みと山車行事 伊能忠敬(ちゅうけいさん) 小見川の町並み	佐原伝統的建造物群 保存地区、 佐原の山車行事など 伊能忠敬旧宅 佐藤尚中誕生地など	
III. 利根川と下総台地に広がる風景	⑥ 利根川・水郷 自然景観 ⑦ 地域の拠り所 府馬の大クスと自然環境			
IV. 仏教文化の広がり と下総台地に刻まれた遺跡群	⑧ 仏教の伝播を物語る遺跡・遺物 ⑨ 関東有数の下総型板碑群 ⑩ 中世千葉氏一族の城館跡 ⑪ 江戸幕府直轄の馬牧跡			
V. 下総台地のくらしと 信仰・祭礼	⑫ 香取の村々の生活と祭礼行事 ⑬ 栗山川流域の日蓮宗信仰	側高神社のひげなで祭 山倉大神の鮭祭り 十二座神楽 獅子神楽・獅子舞		

関連文化財群③ 下総国一の宮 香取神宮

東国支配の拠点として置かれた香取神宮は、古来より広く崇敬を集めた。「香取の海」と称される内海を掌握し、沿岸の海夫と呼ばれる漁民から信仰されていた。古くは20年に一度の式年遷宮・造替が制度化されていた。最後の造営となった元禄13年建立の本殿、楼門は重要文化財であり、所蔵する海獣葡萄鏡は国宝となっている。



主な課題

- 指定等建造物の継続的な整備・保存修理が必要である
- 指定等建造物等を守るため防災、防犯対策が必要
- 香取神宮の祭礼行事について継続的な調査が必要

主な方針

- 指定等建造物の整備や保存修理について検討する
- 防災設備について適正な維持管理に務める
- 式年神幸祭などの祭礼行事の記録保存に務める



関連文化財群③の分布

※赤字は香取市歴史的風致維持向上計画掲載事業、青字は防災・防犯関係の措置

主な措置

措置	概要
83 香取神宮遺跡の新規指定 ■行政 ■R10~11	香取神宮遺跡の将来的な指定に向けて、関係者との協議や境内地及び周辺遺跡の調査等を継続して進める。
85 香取神宮防災設備更新事業【防災・防犯】 ■所有者等 ■R5~7	香取神宮境内の指定等文化財建造物に係る防災設備(自動火災報知器、放水銃、避雷設備等)については、昭和51年に設置以後、小規模な修繕等を行っているものの、全体として老朽化による機能低下が懸念されるため、所有者、関係部局、市で協議しながら、計画的に設備更新を進める。(主体:香取神宮)
87 香取神宮社殿保存修理(本殿塗替)事業 ■所有者等 ■R5~7	重要文化財「香取神宮本殿・楼門」について、本殿は平成14年、楼門は平成2年の塗替えされているが、経年の劣化等で塗直しを検討する時期となっていることから、所有者、関係部局、市で協議し、計画的に保存修理事業を進める。(主体:香取神宮)
89 香取神宮式年神幸祭記録保存調査 ■行政 ■R8	12年に一度午年の香取神宮式年神幸祭については次回令和8年4月に催行される予定であるため、関係資料を収集するとともに祭礼の全体像について動画や写真にて記録保存を図る。
91 ③歴史的風致形成建造物等調査事業 ■行政 ■R5~11	歴史的風致維持向上計画の重点区域(佐原・香取地区)に所在する歴史的建造物の調査を行う。
92 佐原のさくら祭り ■団体等 ■R5~11	香取神宮などのさくらの名所で、雪洞の設置や夜間ライトアップなどを行う。(主体:水郷佐原観光協会)

関連文化財群④ 利根川舟運で発達した河岸 江戸優り佐原と小見川陣屋

江戸時代の利根川東遷による舟運の発達により、佐原は河岸として栄え、俗語にも「佐原本町江戸優り」と謳われた。その町並みは重伝建地区として歴史的な景観を今に伝え、ユネスコ無形文化遺産登録の佐原の山車行事が行われる。同じく河岸場として栄えた小見川には内田氏の陣屋が置かれた。

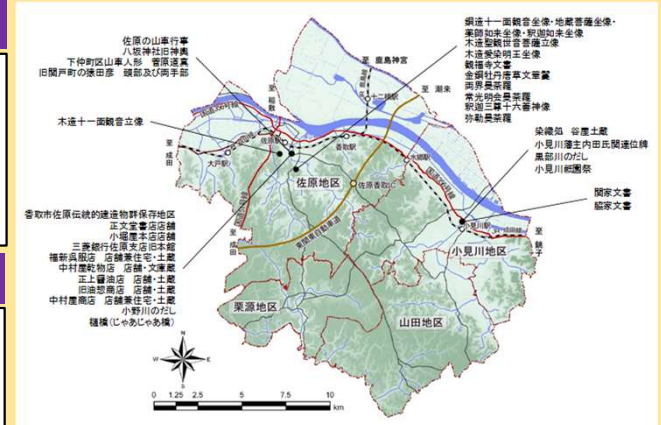


主な課題

- 建造物の継続的な維持管理・保存修理が必要
- 山車などの用具等の保存修理や後継者育成が必要
- 小見川の町並みの建造物や祭礼行事の調査が不十分

主な方針

- 伝統的建造物の継続的な保存修理や修景を進める
- 山車などの用具等の計画的な保存修理を進めるとともに、後継者育成に努める
- 小見川の景観を形成する建造物や祭礼行事の調査を行う



関連文化財群④の分布

※赤字は香取市歴史的風致維持向上計画掲載事業

主な措置

措置	概要
93 ②香取市佐原伝統的建造物群保存地区保存整備事業 ■所有者等 ■R5~11	香取市佐原伝統的建造物群保存地区の伝統的建造物の保存・整備や修景を行うことと、活用につなげる。
97 ⑧山車保存整備事業 ■団体等 ■R5~11	重要無形民俗文化財「佐原の山車行事」に係る用具等の保存・修理を継続的に行う。構成する25町内の山車について、山車本体、彫刻、飾り物など用具類の保存修理を行うもので、佐原山車行事伝承保存会が要望をとりまとめ、平成29年度から継続して実施している。国、県、市補助金を活用して実施。
100 ⑪指定無形民俗文化財保存育成事業 ■団体等 ■R5~11	佐原山車行事伝承保存会の活動事業に対して支援を行う。また、市指定無形民俗文化財の活用や用具等の修理についても支援を行う。(主体:各保存団体)
101 ⑫小見川の町並み調査事業 ■行政 ■R5~10	小見川の町並みや、毎年7月第三週頃の金土日に催行される小見川祇園祭の調査を行い、資料としてまとめる。
105 さわらぬめぐり・さわらぬ舟春祭り ■団体等 ■R5~11	2月から3月にかけて、佐原の町並み、小野川周辺を会場に、雛人形の展示や雛舟の運行を行う。(主体:佐原おかみさん会)
114 水郷おみがわ桜つつじまつり ■団体等 ■R5~11	3月末から4月にかけて小見川城山公園を会場に、花見客に楽しんでもらえるよう雪洞のライトアップやお花見コンサートなどを開催する。(主体:水郷小見川観光協会)

【参考】 関連計画等

- 香取市歴史的風致維持向上計画（R元～R10年度）
- 日本遺産「北総四都市江戸紀行」（H28年度）
- ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」（H28年度）

日本遺産 北総四都市江戸紀行

●ストーリータイトル
北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み
 -佐倉・成田・佐原・銚子：百万都市江戸を支えた江戸近郊の四つの代表的町並み群-

●認定自治体
 千葉県（佐倉市、成田市、香取市、銚子市）

●主な構成文化財（香取市所在分）
 香取市佐原伝統的建造物群保存地区
 伊能忠敬旧宅、伊能忠敬関係資料、佐原の山車行事、香取神宮本殿・楼門、香取神宮神宝類、佐藤尚中誕生地、初代松本幸四郎墓 など

●ストーリー概要
 北総四都市は、百万都市江戸に隣接し、関東平野と豊かな漁場の太平洋を背景に、利根川東遷により発達した水運と江戸に続く街道を利用して江戸に東国の物資を供給し、江戸のくらしや経済を支えた。こうした中、江戸文化を取り入れることにより、城下町の佐倉、成田山の門前町成田、利根川水運の河岸、香取神宮の参道の起点の佐原、漁港・港町、そして磯巡りの観光客で賑わった銚子という四つの特色ある都市が発展した。これら四都市では、江戸庶民も訪れた4種の町並みや風景が残り、今も東京近郊にありながら江戸情緒を体感できる。成田空港から近いこれらの都市は、世界から一番近い「江戸」といえる。



北総四都市江戸紀行認定地

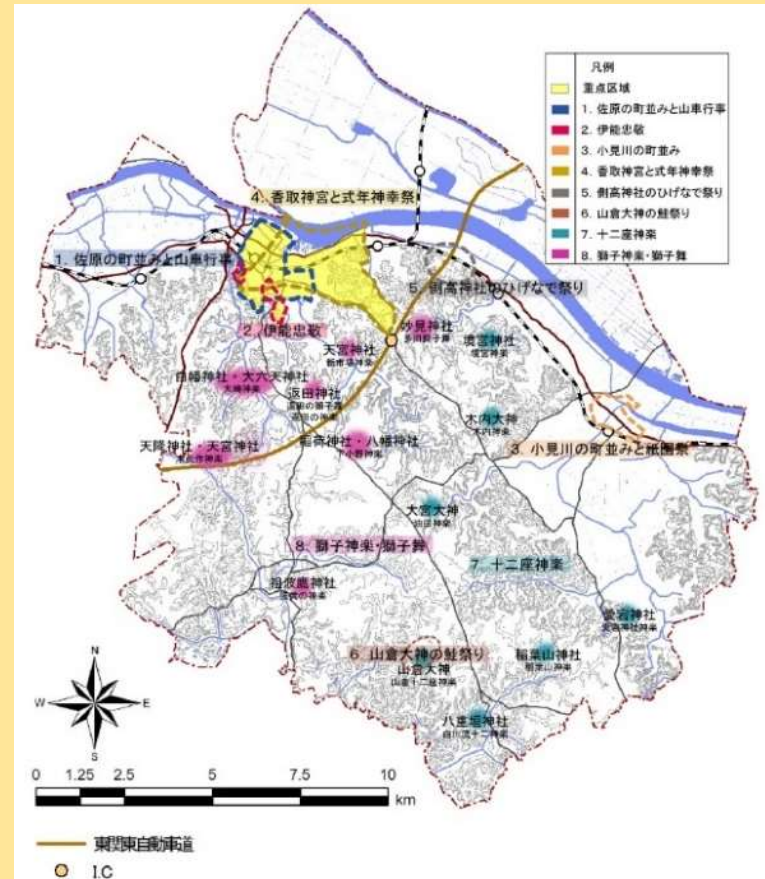


香取市歴史的風致維持向上計画

平成31年3月策定

- 計画期間：R元～10年度（10ケ年）
- 歴史的風致：8件
- 重点区域：佐原・香取地区（621ha）

- 計画期間内の事業：20件
- ア. 歴史的建造物や歴史的町並みの保存と活用のための事業（4件）
- イ. 歴史的建造物や歴史的町並みと調和する周辺環境の整備のための事業（3件）
- ウ. 伝統的な祭礼行事の継承と記録のための事業（7件）
- エ. 歴史文化資産の調査と情報発信のための事業（6件）



歴史的風致の位置と重点区域の範囲